

おうちにくよ



令和5年度 第1回 介護・医療連携推進会議

- 日時:令和5年9月15日(金) 14:15~15:15
- 会場:株式会社 エール フリースペース
- 主催:株式会社エール

24時間訪問介護看護 ケアステップ エール

(岡山市指定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)

yell!



議事

開会挨拶

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

利用の現状について

症例発表

課題について

質疑応答／意見交換

次回日程のご案内(令和5年度 第2回)

(案)令和6年3月15日(金)14:30~15:30



地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が一体的に提供される**地域包括ケアシステムの構築**を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、**地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。



出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

yell!

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス概要

正式名称は、

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



創設の経緯

訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を**24時間支える仕組み**が不足していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携**が不足しているとの問題がある。

このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護を創設。
(2012年4月)

※2018年1月時点での請求事業者数:853事業所



「**住み慣れた家で最期まで**」を叶えるサービス。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの利用条件

1 要介護認定者であること

重度化の防止・ADLの向上を基本理念とした、要介護者に向けたサービスです。

2 住所地が岡山市であること

地域密着型サービスであるため、岡山市に住民票がある方のみが対象となります。岡山市に在住で、住民票が他の市区町村にある場合、**住所地特例の適用**が認められれば、例外的に利用することもできます。

3 訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護との併用不可

サービス内容が重複するため、定期巡回サービスと併用することはできません。ただし、**通院等乗降介助のみ、併用可能**です。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容



定期巡回サービス

訪問介護員が計画書に基づいて1日複数回・短時間の介護サービスを巡回して行うもの。



随時対応サービス

利用者やその家族等から24時間365日緊急時等に連絡を受け、訪問の可否を判断するもの。



随時訪問サービス

随時対応サービスの訪問の可否の判断に基づき、利用者宅を訪問して介護サービスを行うもの。



訪問看護サービス

医師の指示に基づき、看護師等が利用者宅を訪問して看護サービスを行うもの。

適切なアセスメントとマネジメントに基づいて、介護サービスと看護サービスが連携を図りつつ、「短時間の定期訪問」、「随時の対応」といった手段を適宜・適切に組み合わせて、1日複数回、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するものであり、4つのサービスが提供されます。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの特徴

1 ケアプランの協同作成

定期巡回事業所の**計画作成責任者**が、ケアマネジャー、看護師と共にケアプランを作成します。制度上、「いつ、何回行って、何を**するか**」(≡ケアプラン3表)の**裁量権は、定期巡回事業所に持たされています。**



サービス量の適正化を目的とした制度設計

2 2時間ルール・20分ルール適用外

従来のサービスでは不可能とされていた、**2時間以内の再訪問**や、**20分未満のサービス提供**が可能です。



相互関係


3 包括報酬


要介護度に応じた月あたりの定額制です。
※日割りでの利用も可能。



アセスメントの徹底

 ケアマネジャーの視点
(総合アセスメント)

 看護師の視点
(医療アセスメント)

 定期巡回の視点
(頻回なアセスメント)



計画書(第一版)を作成



利用者を様々な視点から立体的に捉えたうえで、定期巡回サービスによる**24時間365日の介入**で、**断続的なアセスメントとモニタリング**を実施。

日々**変動する利用者のニーズ**に応じ、**迅速で柔軟な対応**を取ることで、ADLの向上や、重度化の防止を図る。

ポジティブアセスメント

yell!



利用の現状について(R5,8月現在)※御南中学校区での利用 4名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
M・I様	74歳	4	北区今	117回	2回	医療	排泄介助
O・M様	83歳	5	北区平田	50回	4回	○	排泄対応 更衣介助
O・H様	82歳	1	北区今	74回	0回	○	服薬、安否確認
S・T様	89歳	4	北区新屋敷	65回	1回	○	排泄対応、保清
W・Y様	95歳	4	南区福富	83回	-	—	排泄、更衣介助
N・M様	91歳	2	北区撫川	21回	-	--	服薬、安否確認
T・M様	86歳	1	北区芳賀	50回	4回	○	服薬、安否確認

氏名31	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
O・S様	74歳	3	南区豊成	73回	0回	○	排泄介助.点眼
T・S様	74歳	5	南区迫川	73回	0回	—	服薬、安否確認
O・H様	84歳	2	南区福富	14回	0回	○	服薬、安否確認
M・N様	87歳	5	北区岩田町	8回	0回	○	服薬、排泄対応 インスリン
K・I様	90歳	1	北区大安寺	26回	2回	○	服薬、買物
A・Y様	90歳	2	北区平野	31回	0回	--	排泄対応、更衣介助
K・M様	75歳	5	南区泉田	94回	5回	---	排泄,内服 生活全般

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 4名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
K・K様	79歳	3	南区大福	81回	0回	---	服薬、安否確認
T・E様	89歳	2	北区西古松	33回	2回	○	服薬、買物
Y・M様	82歳	5	南区泉田	96回	5回	○	排泄対応、吸痰
O・T様	78歳	2	南区並木町	68回	2回	○	排泄対応、買物
I・T様	84歳	5	北区北長瀬	86回	0回	○	排泄対応、車椅子移乗
Y・M様	83歳	5	南区大福	10回	0回	---	排泄対応、服薬

利用の現状について(R4,8月現在)※御南中学校区での利用 4名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
M・Y様	83歳	4	北区今	97回	0回	○	内服、排泄、胃瘻
K・S様	73歳	5	南区大福	85回	4回	---	排泄、内服
O・T様	66歳	2	北区島田	32回	1回	○	排泄、内服、生活全般
Y・K様	96歳	5	中区中島田	62回	3回	○	排泄介助
E・Y様	91歳	5	中区赤坂台	69回	7回	○	排泄介助、内服
K・K様	80歳	4	南区当新田	40回	0回	—	排泄対応

利用の現状について(R5,8月現在)※御南中学校区での利用 4名

- ◆お客様登録数 28名
- ◆平均介護度 3.43
- ◆月定期訪問総回数 1642回
- ◆平均定期訪問回数 58.64回
- ◆月随時訪問回数 48回
- ◆新規依頼 5名
- ◆終了者 1名



症例発表

圧迫骨折後、下肢不全麻痺 70代 女性 《独居生活》

自宅で転倒し圧迫骨折後、1か月後に体動困難となり救急搬送。化膿性脊椎炎に両側腸腰筋膿瘍を伴う状態で両下肢麻痺と感覚低下となり自宅での生活が困難と判断され病院から特別養護老人ホームへ入所。ベッド上での生活で歩行困難であるが本人より自宅へ戻りたいと強い希望があり退去となる。看護一体化定期巡回で1日複数回訪問し生活支援をする中で、排泄の失敗や思うように動けないことで流涙されることが多くなり、本人の訴えを傾聴する中で少しでも自分で動いて物を取りに行きたいと希望がありリハビリ療法士も介入。現在は車椅子への移乗とベッドから台所までの自走を目標に自宅とデイサービスでリハビリをしながら生活している。

yell 

症例発表

廃用症候群 84代 男性

施設入所されておられたが妻の希望もあり最期は、「在宅で一緒に過ごしたい」との強い思いがあった。主介護者である妻も高齢であり、介護経験がない。日々の周辺症状が異なり柔軟な対応支援が必要。

各関係機関との連携を図り、在宅生活開始となる。

約1年近く在宅生活で徐々に体力低下となるが、ご夫婦の時間を過ごすことが出来、ご家族様に看取られ永眠されました。

yell 

課題について

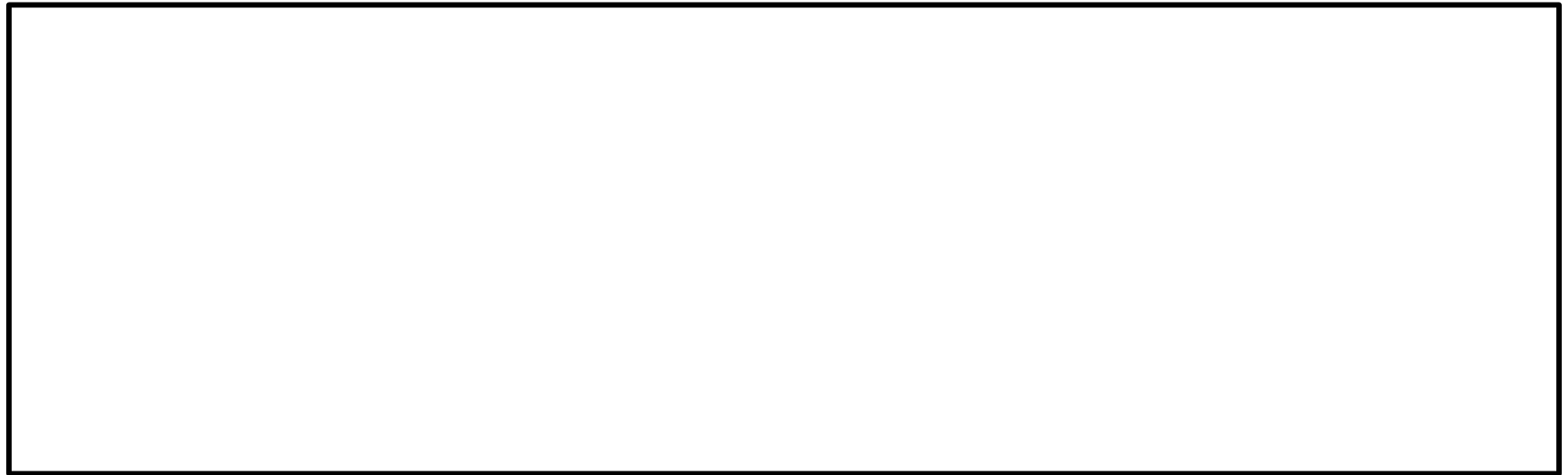
◆人員確保

◆定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの
認知度、理解度が低い

◆医療・介護の連携

yell! 

質疑応答/意見交換会



次回日程のご案内

令和6年2月16日(金)14:30～15:30

本日は、皆様ご多用にも関わらずお越しくださり心より感謝申し上げます。

yell!

